



向東小

「研究授業より～ペアトーク～」



「小中合同研修会における研究授業後の協議会より」

学校だより

1学期を振り返って

尾道市立向東小学校
平成30年8月3日 第5号
発行責任者 神原 雅彦

1学期は、4月の受刑者の逃亡事件により、大変不安な毎日をお過ごしの日が続きました。地域の皆様による見守り、保護者の皆様による登下校の送迎等により、子供達は、学校や地域で安全にお過ごしことができました。また、7月には、豪雨災害に伴う臨時休業もあり、大変不自由な生活の中、地域・保護者の皆様には、ご理解とご協力いただきありがとうございました。7月18日(水)から授業が再開し、子供達は、元気よく登校することができました。20日(金)、1学期の終業式を行い、夏休みが始まりました。

さて、本年度から、尾道市で初となる「向東地域学校運営協議会制度」の指定を受け、「向東小中学校のコミュニティ・スクール」がスタートし、地域教育支援推進委員会においても小中学校合同の会となりました。多くの皆様の力をいただき、学校と地域が協働して「確かに豊かな力を持った子供達を育成すること」を目指し、取組を進めてきました。

1つ目は、「学力を伸ばす」ことです。本年度から、向東小中学校における教職員の授業交流を中心とした合同研修を行い、9年間を見通してつきたい力を明確にしながら、研究推進を行っています。また、多くの学校支援ボランティアの皆様への支援をいただき、学びを深め、広げることができました。しかし、自分の考えを持つことや学習意欲の向上については、更に力をつけていく必要があります。

2つ目は、「豊かな心を育成する」ことです。挨拶の徹底や時間を守るといった規範意識の向上、自己有用感を高めること、体力・運動能力を高めること、早寝・早起きの習慣化による自立した生活習慣を身に付けさせること等に取り組んできました。時間を意識し、チャイムと同時に次の行動を行うといったルールは身につけてきました。しかし、登下校時や来客時に、自分から進んで挨拶することは不十分です。

3つ目は、「地域や社会に貢献できる力を育てる」ことです。学校支援ボランティアの皆様へ、多くの支援をしていただき、様々な分野にわたる専門的なことを学ぶことができました。

子供達は、地域のよさ、繋がりを身近に感じることができ、色々な場面で地域に発信をしたり、地域貢献したりする力が芽生えてきました。今後は、より一層、地域のことに目を向け、地域のために主体的に行動できる力を育てていきたいと思っています。

今後、小中合同部会において、小中学校の取組を共有し、ミッションステートメントの実現に向けて、成果と課題を明確にし、2学期に向けた取組の焦点化を図っていきます。

夏季休業中に入り、多くのご支援をいただいておりますが、地域の皆様には、子供達の安全のために、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。特に、この夏は、熱中症が心配されますので、注意喚起を行っていただきたいと思います。

また、子供達のことで気になる様子がありましたら、学校へご連絡いただけたらと思います。

夏季休業中に係るお知らせについて

学校のプール開放について

この度の豪雨災害による断水等、学校のプールの水質・衛生上の管理が困難になりました。これを受け、向東小学校プール運営委員会において協議を行い、例年実施していましたが学校のプール開放を中止にしています。

夏季一斉閉庁について

すでにお知らせをしていますが、今年度も夏季休業中の8月13日(月)から8月15日(水)までの3日間は、尾道市の小中学校は、一斉閉庁になります。児童の事故等、緊急に学校へ連絡する必要がある場合は、尾道市教育委員会教育指導課へご連絡ください。

【緊急連絡先】 尾道市教育委員会教育指導課 電話:0848-20-7454